



TOYOTA



マルチモーダルモビリティサービス 「my route」について

西日本鉄道株式会社
まちづくり推進部

阿部 政貴(アベ マサキ)

- 1972年生まれ 福岡県出身
- 1997年4月 西日本鉄道株式会社入社
- 自動車事業本部(バス事業)で、バスダイヤ作成、収支管理等に従事
- 広報室(報道担当)・秘書室(社長秘書)で合計8年勤務
- 2012年7月 自動車事業本部 営業部営業第一課長
- 2015年7月 自動車事業本部 計画部計画課長
- 2019年4月 経営企画部 課長
- 2020年4月 まちづくり推進部 課長

西鉄バスグループの概要

【営業エリア】 福岡都市圏、北九州都市圏、福岡県下など

【車両台数】 乗合 2,709台 貸切 258台

【輸送人員】 26,950万人

※西鉄バスグループ…西日本鉄道、西鉄観光バス、西鉄バス北九州、西鉄バス久留米、西鉄バス大牟田、西鉄バス佐賀、西鉄バス筑豊、西鉄バス宗像、西鉄バス二日市、日田バス、亀の井バス 計12社 (2019年4月1日時点)



バス事業の環境と課題

《従前からの課題》

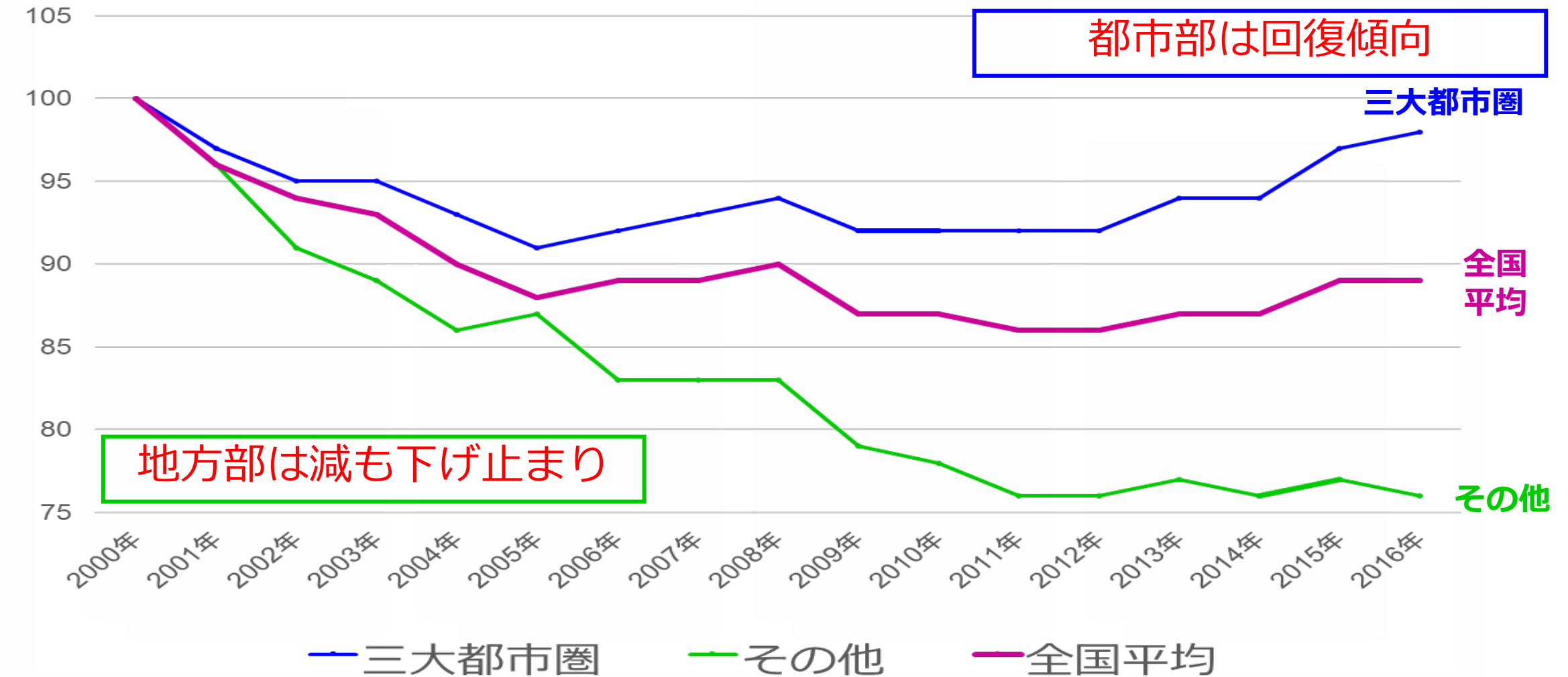
- ・ 公共交通（バス）価値の高まり
- ・ 運転士不足と働き方改革

《コロナ以降の課題》

- ・ 公共交通の利用者減少

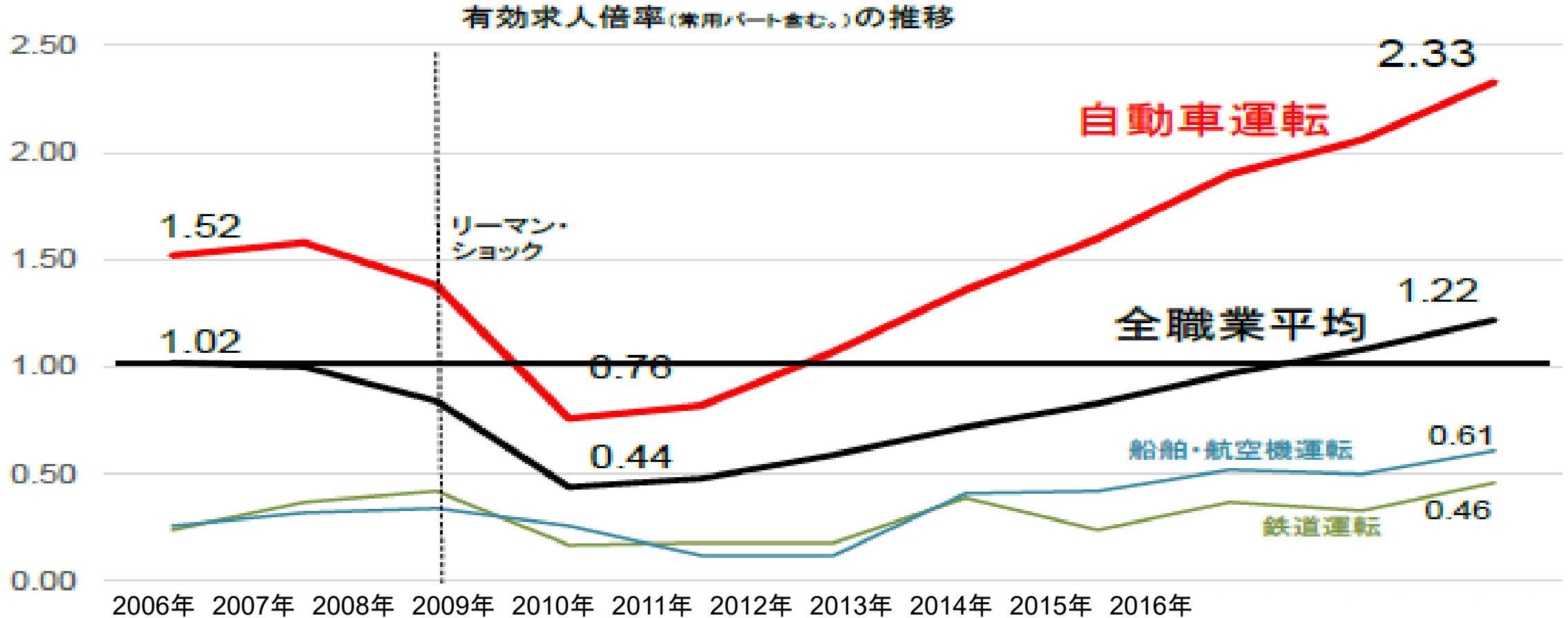
公共交通（バス）価値の高まり

輸送人員の推移（2000年度を100とした場合）



※国土交通省資料より抜粋

運転士不足と働き方改革



**自動車運転業務の有効求人倍率は
全職業平均の約2倍、離職者も多い**

※国土交通省資料より抜粋

運転士不足と働き方改革

● 収支状況（大都市部及びその他地域）

| | | 大都市部 | その他地域 | 計 |
|----------|----|-------|-------|------|
| 経常収支率（%） | | 102.5 | 86.0 | 95.6 |
| 事業者数 | 黒字 | 51 | 24 | 75 |
| | 赤字 | 29 | 141 | 170 |
| | 計 | 80 | 165 | 245 |

※参考

| 九州 |
|------|
| 91.6 |
| 5 |
| 32 |
| 37 |

（注1）高速バス及び定期観光バスを除く。

（注2）大都市部（三大都市圏）とは、千葉、武相（東京三多摩地区、埼玉県及び神奈川県）、京浜（東京特別区、三鷹市、武蔵野市、調布市、狛江市、横浜市及び川崎市）、東海（愛知県、三重県及び岐阜県）、京阪神（大阪府、京都府（京都市を含む大阪府に隣接する地域）及び兵庫県（神戸市及び明石市を含む大阪府に隣接する地域））ブロックの集計値。

（注3）九州とは、北九州、南九州、沖縄ブロックの集計値。

※日本バス協会資料より抜粋

コロナ禍での公共交通利用者減少

2020年9月～10月 路線バス「定期外」収入（福岡地区）

平日 前年比 約80% 土日祝 前年比 約70%

《要因推定》

- ・ 観光インバウンドの減
- ・ イベント等の減少、収容人数の減

⇒回復の見込みがある

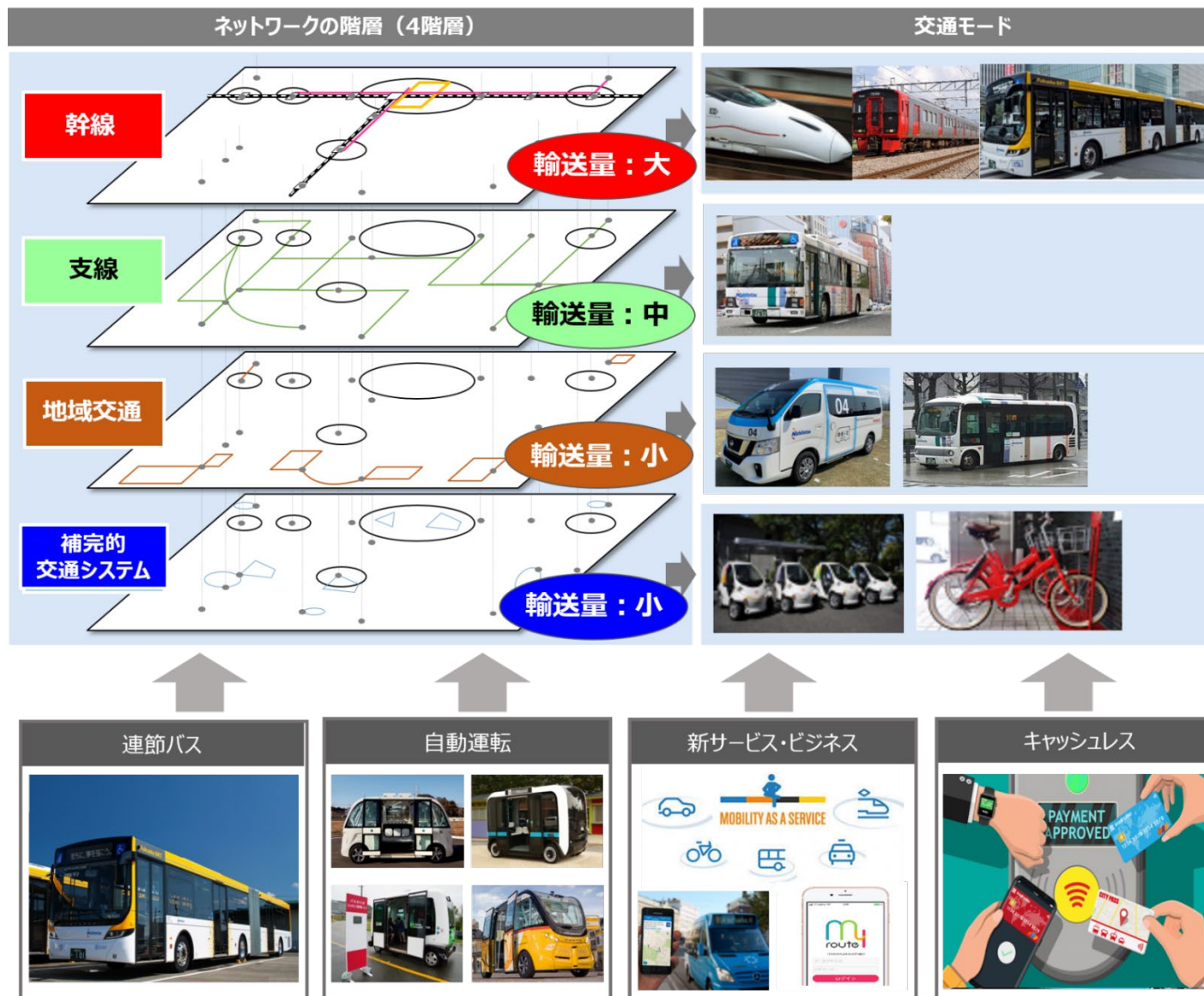
- ・ テレワークなど働き方の変化
- ・ 都心へのお出かけ頻度（近場や郊外へ）
- ・ 出張の減少

⇒回復の見込みが完全には望めない

☆ 今後 公共交通は「回復が望めない需要」への対応が求められる

目指す将来像

公共交通の維持は
単独事業者では困難



安心・快適で持続可能な
公共交通ネットワークを構築

my route 取組みに至った背景

トヨタ自動車

「my route」の実証実験フィールドの検討でご来社

クルマを作る会社からモビリティカンパニーに
移動に関するあらゆるサービスを提供する会社に

人々の移動を「もっと便利に」「もっと自由に」
会社の枠組みを超えて連携を模索する



当 社

世界的自動車メーカーからの連携打診に驚きと関心

1. 「所有」から「利用」へ

当社の保有している公共交通（鉄道・バス）と

他モビリティとの連携を推進する必要性を認識

当 社

世界的自動車メーカーからの連携打診に驚きと関心

2. 事業課題の解決と社会的責任の完遂

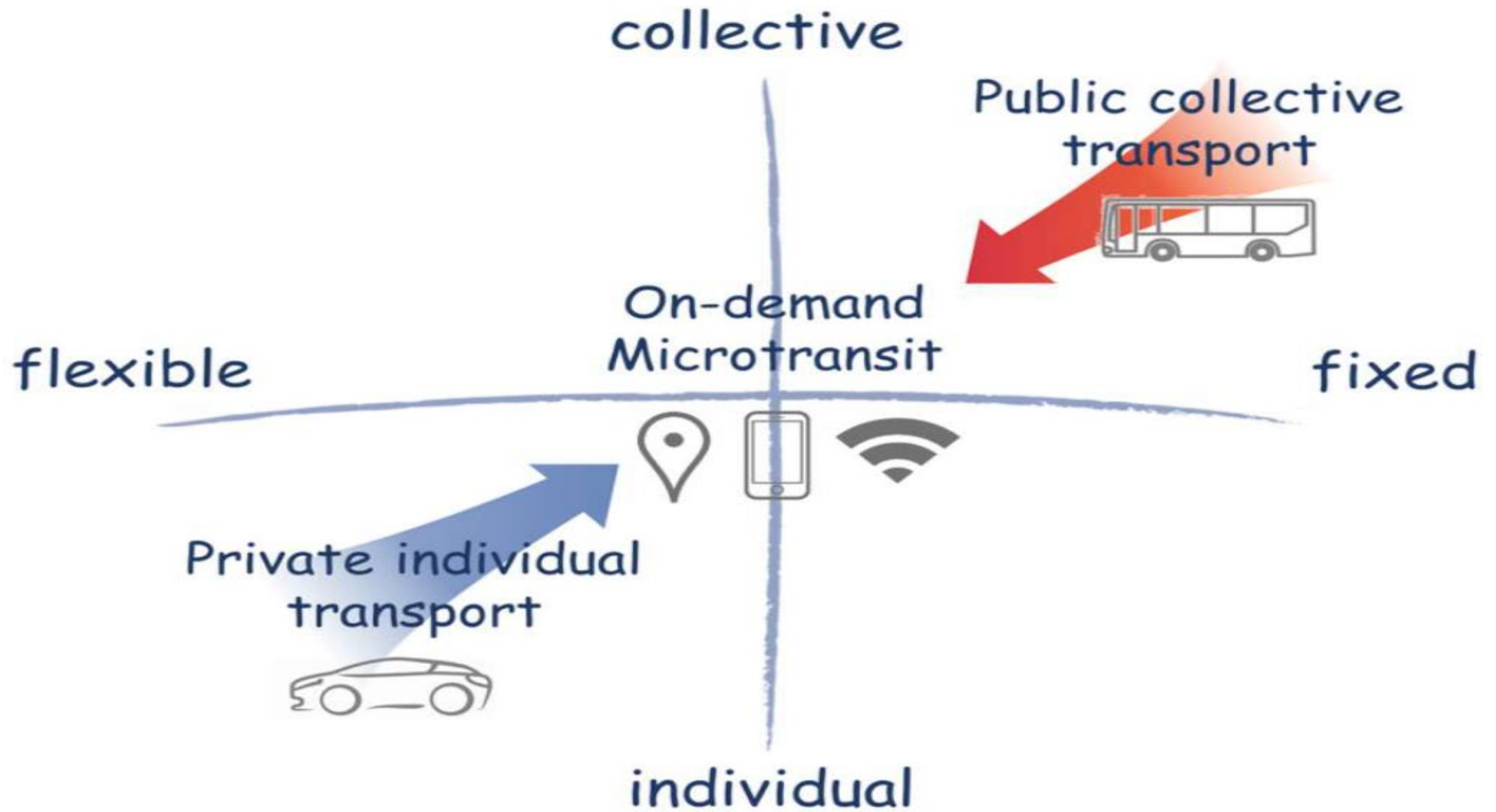
現状では今後のモビリティは「維持」すら困難。

利用者目線で新しい領域に挑戦する時代へ

我々は福岡から逃げ出すことは出来ない

福岡を移動しやすい、魅力ある街にすることで

地域とともに発展する



トヨタ自動車の持つ魅力・強み

プラットフォームの開発力・スケール

開発能力が非常に高く、事業に対する視点が広い

スモールモビリティを創る力

公共交通×新モビリティで新たな価値を生み出せる可能性

地域での事業を熟知されている

販売店様との関係性

事業パートナーを大切にする風土

「移動」に関するマインドの高さ

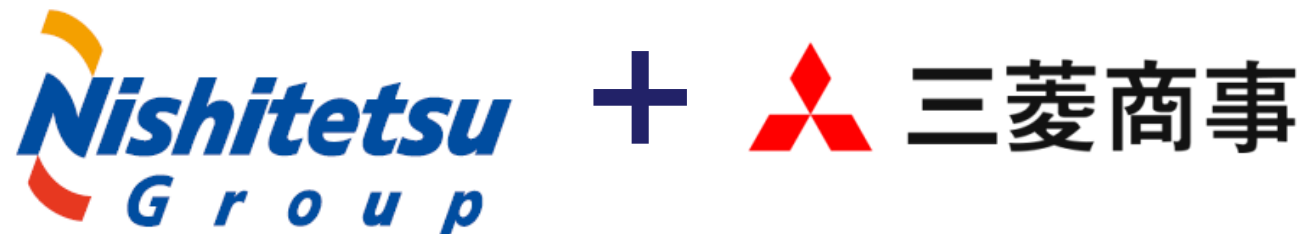
常に"利用者視点"で判断





AI活用型オンデマンドバス 「のるーと」 (三菱商事(株)との協業)

まちに、夢を描こう。

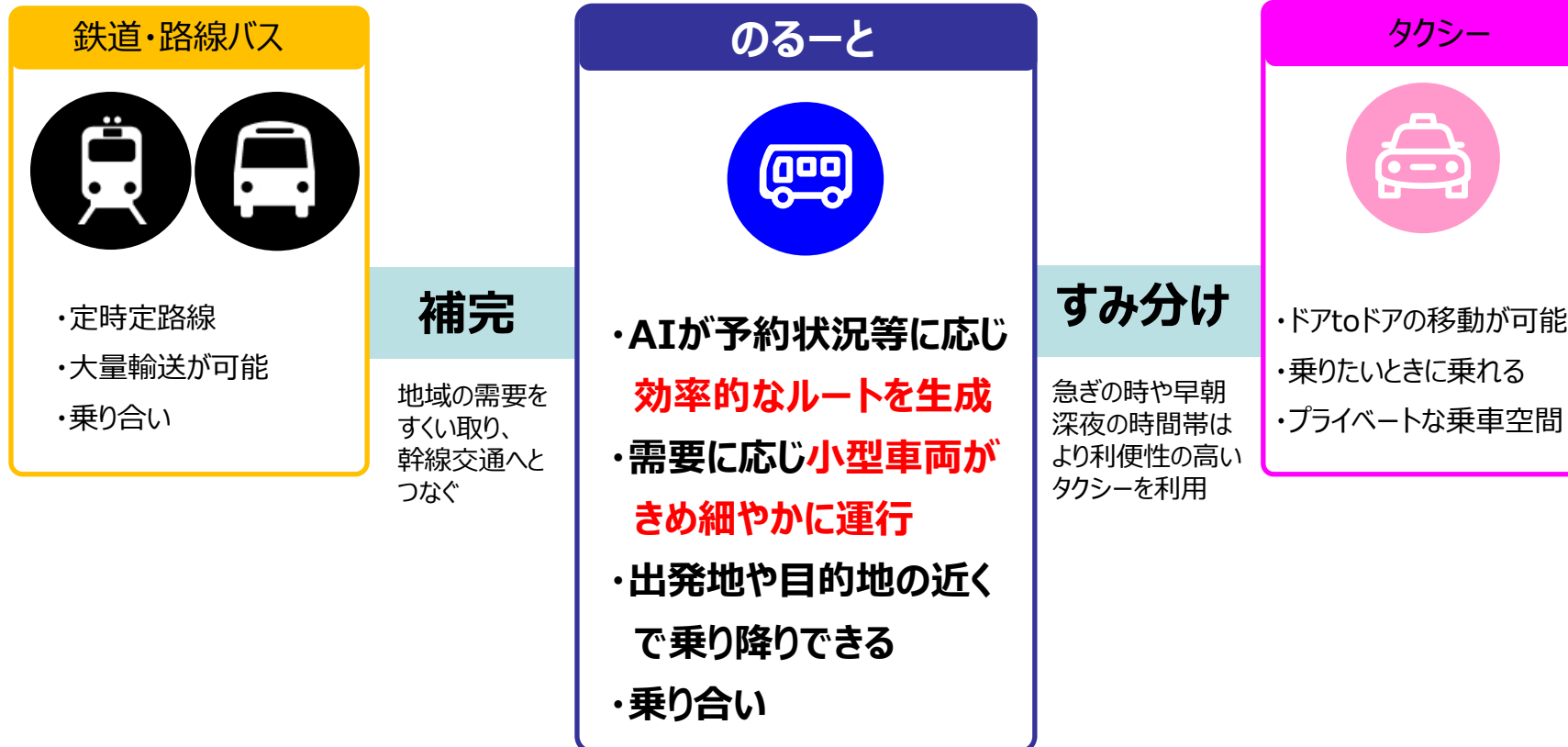




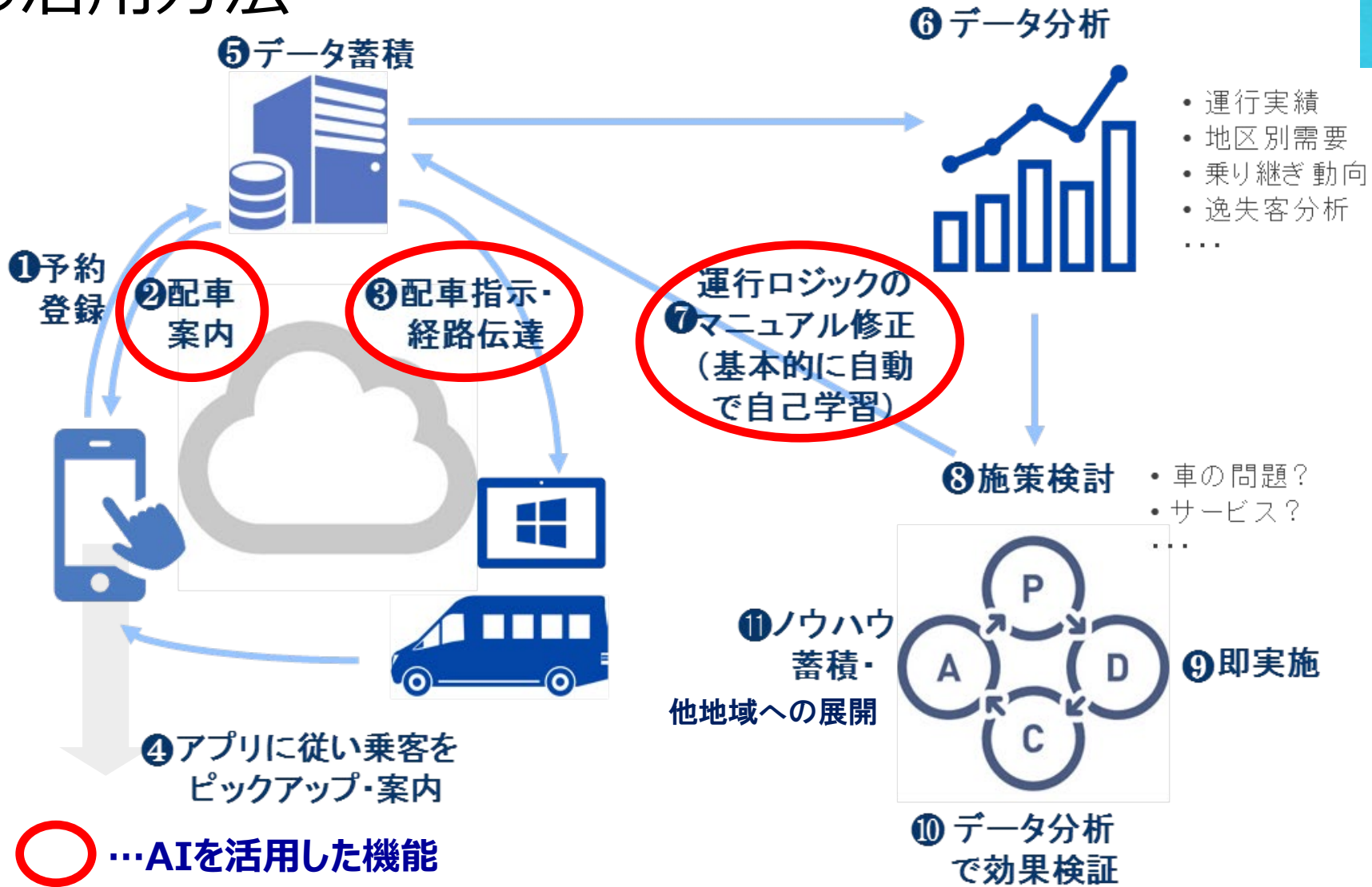


サービスの特徴と役割

- ・路線バスとタクシーの中間的なサービス
- ・**幹線交通（鉄道・路線バス）を補完する役割**



A I の活用方法





アプリのイメージ



スマホアプリ上で、簡単に乗車場所/目的地を設定

予約確定



数秒で最適な車両を配車

拡大



ミーティングポイントの位置、車両情報、到着時刻等をご案内

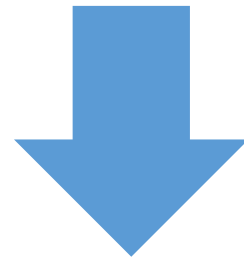
アイランドシティ地区の概要



- ✓ 2Km四方の人工島
- ✓ 住宅、集客施設、物流施設の開発が続いている
- ✓ 居住10,000人、就業6,000人（19年4月現在）
- ✓ 現在の2倍程度まで人口集積が進む見込み

アイランドシティ地区の交通課題

- 開発に伴い交通需要が拡大中。**駐車場不足、渋滞悪化の懸念**
- 子育て世代が多く、買い物・送迎等の**自家用車利用率が高い**
- 隣接する**物流倉庫群への交通手段も課題**
- バス営業所新設により路線バスの便数は増加したが、**全域はカバーできていない**



“バス以下”を支える良質なモビリティがない
「利便性↑」「維持費↓」「他交通とのシナジー」
交通を短期間で実現

**持続可能な公共交通ネットワーク構築と
移動課題解決を目指し「のるーと」導入**

福岡市東区「アイランドシティのるーと」 AIオンデマンドバスの利便性・事業性を検証すべく実証運行中

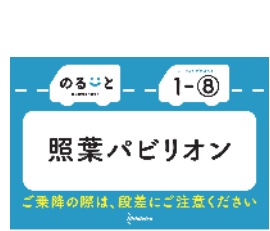


運行エリア

- 乗降拠点約60箇所
- 郊外開発地型
- エリア面積約5km²
- 対象人口1.5万人



ミーティングポイント (乗降拠点)



車両

日産キャラバン5台
(定員10名)



実施期間 2019年4月25日(月) から一年間

運行時間 6:00 ~ 22:00 頃

予約受付 スマホアプリ、または電話

運賃

- ・アイランドシティ地区内 200円
- ・アイランドシティ⇄イオンモール香椎浜 300円
- ・アイランドシティ⇄西鉄・JR千早駅 400円

※小学生・障がい者は半額、未就学児は無料
※路線バス乗り継ぎポイントサービスあり
・各種割引施策有り
(3,000円で300円バック、5,000円プリペイド、e定期券)

決済方法 クレジットカード、nimoca等交通系ICカード、現金
※クレジットカードはアプリ上での支払

運行事業所 西鉄自動車事業本部 アイランドシティ営業所
※福岡西鉄タクシーより運転士出向
(ネクスト・モビリティ社が西鉄に運行业務を委託)

利用者 平日1日100-250名程度 / 土日80-200名程度
利用登録者数 9,000名超

現時点の評価

- ・運行開始以降、大きな運行トラブル無く累計約6万人の運送を達成
- ・ODB導入により他交通モードからの代替を促し、域内移動等の新たな回遊を創出
- ・継続的な改善努力により、公共交通に求められるレベルのオペレーションノウハウを確立、全国の事業者様・自治体様にご紹介できる水準確保と評価

福岡市西区「壱岐南のるーと」

戸建住宅が集まる「急坂・狭隘・高齢」団地エリアで、ミニバスを引き継ぎ実証運行中



- 乗降拠点約30箇所
- 校区人口1.0万人
- エリア面積約3km²
- 校区高齢化率36.9%



| | |
|-------|--|
| 運行開始 | 2020年6月1日～ |
| 運行時間 | 8:30 ～ 18:00 頃 |
| 予約受付 | スマホアプリまたは電話 |
| 予約方法 | <p>【リアルタイム予約】 乗りたい時にリアルタイムで配車予約をする方式</p> <p>【事前予約】 事前に乗車したい時間を指定し、予約をする方式 (3日後の予約まで対応可能)</p> |
| 運賃 | <ul style="list-style-type: none"> ・大人 300円 ・小児(6歳以上12歳未満)、障がい者 150円 ・未就学児(1歳以上6歳未満) (※) 無料 <p>※同伴1名につき2名まで。3人目以降は小児運賃適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス乗り継ぎポイントサービスあり ・各種割引施策有り |
| 決済方法 | <p>クレジットカード、nimoca等交通系ICカード、現金</p> <p>※クレジットカードはアプリ上での支払 (5,000円プリペイドチケット、回数券等も有り)</p> |
| 運行事業所 | 西日本鉄道(株) 壱岐自動車営業所 |
| 利用者 | 平日1日70名程度の送客を目標 |

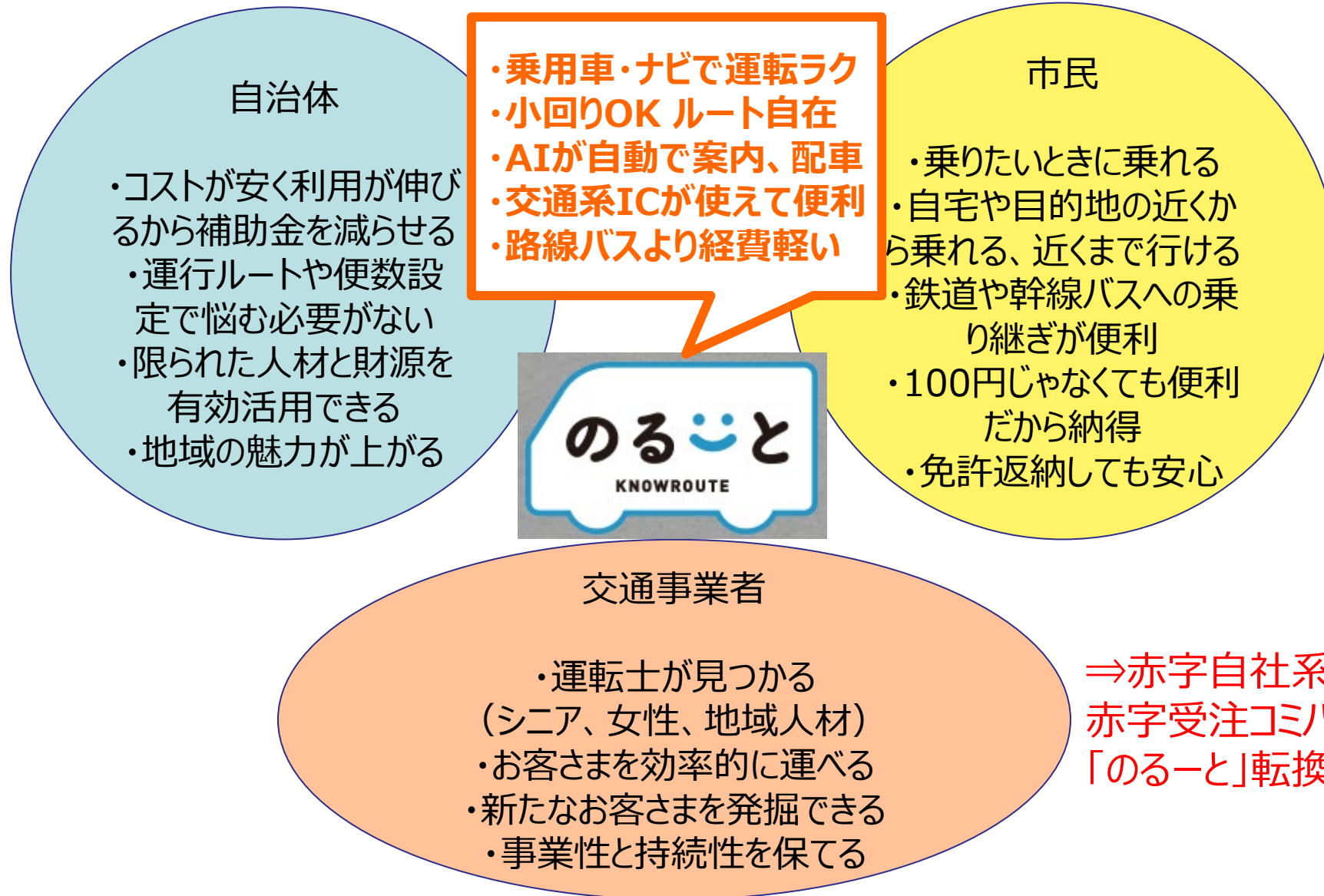
車両

トヨタ
ハイエース

1台運行
※8人定員



「のるひと」に取り組む理由(課題解決の方向性)



⇒赤字自社系統や赤字受注コミバスの「のるひと」転換を計画中